

「PF ニュース」からのお知らせ

平成 24 年度の PF-UA の発足に伴い、PF ニュースはウェブ版が主体となりましたが、引き続き冊子版も発行し、ご愛読を賜り感謝致します。今後も新しい企画記事の連載など誌面の充実につとめ、PF ニュースをより魅力あるものにしていきます。ウェブ版 PF ニュースには、冊子版では白黒となっている図等もオリジナルのカラーのものを掲載しています。ウェブ版もお楽しみ頂ければと思います。

ウェブ掲載時にはメールでお知らせするシステムも運用しています。希望される方は、どうぞ登録下さい。

(<https://www2.kek.jp/imss/pf/pfnews/oshirase.html>)

PF ニュース編集委員一同

投稿のお願い

【最近の研究から】

PF で行われた実験、研究の成果をお寄せ下さい。

【建設・改造ビームラインを使って】

特にビームラインの改良点、他のビームラインとの比較、要望等を是非お聞かせ下さい。

【ユーザーとスタッフの広場】

PF での実験の成果等が認められ受賞された方、海外放射光施設に滞在、訪問された方、国際会議等に参加された方、修士論文等、どうぞ投稿下さい。また PF に対するご意見等がありましたら是非ご投書下さい。

詳細は PF ニュース HP をご覧下さい。

宛 先

〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所 放射光実験施設内
PF ニュース編集委員会事務局
TEL : 029-879-6196 FAX : 029-864-2801
Email : pf-news@pfqst.kek.jp
URL : <https://www2.kek.jp/imss/pf/pfnews/>

編集後記

2026 年も 7 月に入り、PF・PF-AR の第 1 期運転が 6 月末で終了しました。例年通り、5～6 月には数度のビームライン利用の機会をいただき、今年度も無事に第 1 期の実験を完了することができました。PF/PF-AR には硬・軟 X 線、マイクロビーム、STXM など、多様な XAFS ラインが揃っており、開発部門のさまざまな要求に応える測定・解析を行えることから、毎年大変お世話になっております。

今年度上半期は特に大きなトラブルもなく実験を終えることができましたが、昨年度はユーザータイム中に数度の重大トラブルに遭遇するという不運に見舞われました。当時は運の悪さに閉口したものの、後に PF News の施設現況の記事を読み、各所で経年劣化への対応に苦闘されている様子を知り、改めて大規模施設が定常運転を続けることの難しさを痛感した次第です。考えてみれば、KEK-PF は稼働・供用開始からすでに 40 年以上が経過しています。経年劣化は他の量子ビーム施設にとっても他人事ではないようで、今年に入ってから他施設でもトラブルに遭遇しています。装置の急停止で手ぶら帰宅を余儀なくされたり、出張途上で施設停止の報を受け東京駅から U ターンするなど、これまでにあまり例のなかった事態が頻発しています。そうした状況の中で、KEK の放射光が 40 年以上を経てもなお安定供用を続けていることには、深い敬意を覚えます。今後とも安定かつ安全な運転を継続され、稼働 50 周年を迎えられることを心より願っております。(T.M.)

* 2026 年度 PF ニュース編集委員 *

委員長	田辺 幹雄	物質構造科学研究所		
副委員長	佐々木大輔	慶応義塾大学 理工学部		
委員	朝倉 大輔	産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域		
	宇佐美徳子	物質構造科学研究所	城戸 大貴	物質構造科学研究所
	君島 堅一	物質構造科学研究所	木村 耕治	名古屋工業大学 物理工学科
	阪田 薫穂	物質構造科学研究所	志賀 大亮	東北大学 多元物質科学研究所
	千田 美紀	物質構造科学研究所	高木 宏之	加速器研究施設
	松井 高史	富士フイルム(株) 解析技術センター		
	三石 夏樹	名古屋大学大学院 理学研究科		
	山本 達	東北大学 国際放射光イノベーション・スマート研究センター 兼 多元物質科学研究所		
	湯川 龍	東北大学 国際放射光イノベーション・スマート研究センター		
事務局	加世田 薫	物質構造科学研究所		